

富長東集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成24年10月10日

修正日：平成 年 月 日

市町村名	大山町	組織名	富長東地区稲菜作部会
1 地区の範囲 大山町 富長東地区			
2 地区の概要			
水田面積	22.1 ha		
主な水田栽培作目	水稻・大豆		
農家数	30 戸		
認定農業者数	2 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	0 経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。）			
・ 設立時期（規約等の制定日）【平成23年 4月 1日】			
	組織形態（該当形態に○）	構成農家数	
【現状】事業開始年度 （24年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未組織 ・ 共同利用型 ○ 作業受託型 ・ 協業経営型 	12 戸	
【目標】事業開始翌年度 （25年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用型 ○ 作業受託型 ・ 協業経営型 	12 戸	
注1) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。			
4 集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
項 目	【現状】	【目標】	
集 積 面 積 A	0 ha	11.56 ha	
対象水田面積 B	18.94 ha	18.94 ha	
集 積 率 A/B	0 %	61.0 %	
注1) 集積率の目標は、50%超が採択要件。			
注2) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。			
注3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

- 1 担い手の明確化及び水田利用集積目標
 富長東集落は、水田22.1ha、農家30戸で水稲作付けが53.5%で転作作物は主に大豆・飼料米(日本晴)を栽培している。当集落では少子高齢化の進展により農地の耕作、維持管理の困難さが浮き彫りになりつつあるので、耕作放棄地を発生させないよう平成23年4月に集落営農組織を立ち上げた。初年度は機械導入にいたらなかったが、ビジョンの実施により組織の作業受託をすすめ、稲作栽培を中心に組合として耕起(代かき)、田植等を行なっていき、耕作できない農家の水田作業を統括することで、地域の担い手となっていきたいと思う。
- 2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策
 現時点では水田の荒廃防止及び当地域での耕作を維持し、他地域への農地の貸し出しを防ぎ、飼料米と大豆による生産調整にも組合全体で効率よく取り組めるよう意識固めを図っていく。併せて既設の農業用ため池(当地域約13haの農業用水供給源)の維持管理を行なう。
- 3 農業用機械施設の効率利用
 個人所有の機械もほとんど耐用年数を経過しており、機械の修理費が嵩んでいる現状にある。安全対策が施されている最新式トラクター1台、畦塗り機1台を当組合で平成24年度秋に導入し、秋耕うん等の作業受託に取り掛かる。また、25年度春に田植機1台、ハロー1台導入し、早々に田植え作業の受託に取り掛かる。このような取り組みにより耕作できない農家の受け皿となる事を目指すと共に、高齢化しつつあるオペレーターの安全を確保する事で、将来的に継続した地域営農に寄与するものと考えている。尚、個人所有の機械は個人での更新はしない事で申し合わせ済みです。
- 4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針
 耕作者の高齢化に対応できるよう、退職予定者や各農家の後継者を集落の後継者とし、オペレーターとして育成しながら積極的に参加してもらう様働きかけていく。
- 5 経営多角化の方針・具体策
 該当なし

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
トラクター	44PS	1	5,197,000	平成24年11月	○
畦塗り機	RM750H-U	1	745,000	平成24年11月	○
乗用田植機	6条	1	2,753,000	平成25年4月	○
代掻きハロー	TX352EUA	1	1,045,000	平成25年4月	○